# 科学研究費助成事業 研究成果報告書



平成 26 年 6 月 9 日現在

機関番号: 1 2 6 0 1 研究種目: 若手研究(B) 研究期間: 2011 ~ 2013 課題番号: 2 3 7 1 0 1 6 1

研究課題名(和文)低開発地域における社会的ネットワークを活用した効果的な情報伝播と行動変容

研究課題名(英文)Utilizing social networks for effective information dissemination and behavioral interventions in under-developed areas

#### 研究代表者

MATOUS PETR (Matous, Petr)

東京大学・工学(系)研究科(研究院)・准教授

研究者番号:70508192

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,600,000円、(間接経費) 1,080,000円

研究成果の概要(和文):エチオピアのアルシーゾーン(Arsi Zone)のティオ地区(Tiyo Woreda)において、社会実験と社会調査を実施し、住民のコミュニケーションとソーシャル・ネットワーク、新技術の知識と採用状況を計測でき、イノベーション(情報に基づくイノベーションと行動に基づくイノベーション)の普及と伝搬の定量的モデルを作成して、結果を国際学実ジャーナルと学会で発表した。さらに、結果発表の為に、東京で国際的ワークショップを開いた。

研究成果の概要(英文): We carried out a social experiment and a social survey in Tiyo Woreda, Arsi Zone, Ethiopia. We could measure the local inhabitants social networks, knowledge and adoption of innovative tec hnologies. We constructed quantitative models of diffusion of technologies in such rural areas of developing countries and organized an international workshop in Tokyo to announce the results.

研究分野: 複合新領域

科研費の分科・細目: 社会・安全システム科学、社会システム工学・安全システム

キーワード: ネットワーク

#### 1.研究開始当初の背景

本研究の対象は、途上国の低開発農村地域である。社会基盤が整備されてない、組織が未熟である地域の農家は、人と人の間の非正式的なつながりを利用しないと、情報や基本的なリソースにアクセスできない。このような親戚や知り合いの関係が社会的にネットワークを通して伝搬する。ソーシャル・ネットワーク分析方法論を用いて、情報や行動伝搬とイノベーション普及パターンを解析できる。

#### 2. 研究の目的

経済的に極端に貧しい遠隔の農村地域において、アンケート調査、社会実験と質的インタービューを実施して、人のつながりについてデータ収集を行い、住民のコミュニケーション・ネットワーク、新技術の知識と採用状況を計測し、イノベーション(情報に基づくイノベーションと行動に基づくイノベーション、)ソーシャル・ネットワークを分析して、情報やリソース伝搬のメカニズムを解明する。

得た結果によって、インフラや組織が未熟な 地域において、効率的且効果的な介入、情報 の普及、イノベーションのプロモーションの 方法を提案する。

## 3.研究の方法

本研究を実施する為に、途上国の社会基盤が整備されてない遠隔農村地域の中から、研究代表者、助手の大学院生と現地の調査員が安全で調査できる地域を探すことは必要だった。

事前に関連する研究を実施した地域(エチオピアのオロミア週のアルシーゾーン)を選んだ。さらに、この中から、経済的に非常に乏しくて、インフラが殆どないが、治安が良くて、調査をできる農村の四つに着目した。

そこで、三つの村で、全世帯の代表的サンプルにアンケート調査を実施できたと一つの村で全世帯調査をした。さらに、質的インタービューを行った。

得たデータで、ネットワークのモデリングを 行い、回帰分析、stochastic actor-oriented modelling などを用いて、解析をし、インフ ラ未整備遠隔農村地域のソーシャル・ネット ワーク構造、情報と行動の普及メカニズムや 効果的な社会的加入の個人的や地理的要因 を明らかにした。

計測したネットワークの例は以下です。

図1は四つの村の間の新技術(ICT,この場合は携帯電話)によって、6っか月の間のコミュニケーションを表している。

#### 図 1

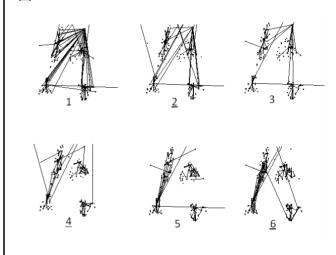
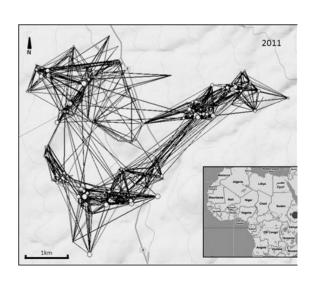
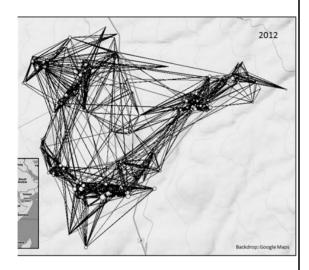


図2と図3は全世帯調査をした村の情報ネットワーク進化を表している。

## 図 2





#### 4. 研究成果

研究の結果は、ソーシャル・ネットワーク(情報共有ネットワーク、コミュニケーション・ネットワーク)が新技術普及に強い影響を与える。しかし、情報によるイノベーションと行動によるイノベーションの伝搬パターンが異なる。したがって、新技術普及に相応しいソーシャル・ネットワーク構造と介入戦略が場合による。

この成果を発表するため、東京で、国際的学実ワークショップも開催した (図4)。

#### 図 4



5 . 主な発表論文等 (研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

- Matous P., Todo Y., Ishikawa T., 2013 "Emergence of Multiplex Mobile phone Communication Networks across Rural Areas: An Ethiopian Experiment", Network Science, 1(3).
- Matous P., Todo Y., Mojo D., 2013
  "Boots are Made for Walking:
   Interactions across Physical and Social Space in
   Infrastructure-Poor Regions",
   Transport Geography, 31(0), pp 226-235.
- 3. Matous P., Todo Y., Mojo D., 2013
  "Roles of Extension and
  Ethno-Religious Networks in
  Acceptance of
  Resource-Conserving Agriculture
  among Ethiopian Farmers",
  International Journal of
  Agricultural Sustainability, pp
  1-16.
- 4. Todo Y., Mojo D., Matous P., 2013
  "Effects of Social Network
  Structure on Diffusion and
  Adoption of Agricultural
  Technology: Evidence from Rural
  Ethiopia", Proceedings of the
  Center for the Study of African
  Economies Conference, pp 1-34.

Pratiwi A., Todo Y., <u>Matous P.</u>
 2013 "The Impact of Return
 Migration on Agriculture
 Technology Adoption in Asella,
 Arsi-Zone, Ethiopia", proceedings
 of the 15th International
 Network for Economic Research
 Conference, pp 1-26.

## [学会発表](計2件)

- 1 . Matous P., Todo Y. 2013 "Mobiles and manure: Reshaping Ecological Learning Networks by Text-Messaging", an unpublished paper presented at a session on Ecology and Society at the International Network for Social Network Analysis conference, Xi'an, 12 July 2013.
- 2 . Matous P. et al 2013

  "Information diffusion by motorbikes and mobile phones in rural Indonesia", an invited talk at the Frontiers of Transportation workshop, Technical University Munich, 1 August 2013.

# 6.研究組織 (1)研究代表者: MATOUS PETR (Matous, Petr) 東京大学・大学院工学系研究科・准教授

研究者番号:70508192

(2)研究分担者

( )

研究者番号:

(3)連携研究者